

<取材のお願い>

2023年10月30日

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

インド、中国、ウズベキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、キプロスの
優秀な高校生ら114名が中央大学附属高校を訪問
～ 国際的頭脳循環の第一歩となることを目指した高校生交流 ～

11月7日（火）、JST さくらサイエンス・ハイスクールプログラムで来日予定（11月5日～11日滞在）の、インド、中国、ウズベキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、キプロスの高校生98名、引率教員16名、計114名が、中央大学附属高等学校（東京都小金井市）を訪問し、同校の生徒たちとともに、科学をテーマとした交流活動を行います。

さくらサイエンス・ハイスクールプログラムは、「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」の一環として実施されています。参加する海外の高校生たちは、各国の政府機関によって選抜された優秀な生徒たちで、現地のメディアにたびたび取り上げられるなど、「各国の代表」として注目を集める存在です。

*「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」
科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。2014年の事業開始以来、約35,000名以上の青少年が来日し、そのうち約7%が学術や就業を目的として再来日しています。

<https://ssp.jst.go.jp/>



来日する高校生らは1週間の滞在期間中に、千葉大学柏の葉キャンパス、つくば市内の研究施設、東京大学本郷キャンパス、日本科学未来館などを訪問します。

中大附属高校では、各国混合のグループに分かれて、SDGs（持続可能な開発目標）の課題解決をテーマに英語で討論を行うほか、けん玉や茶道などの日本文化を体験します。また午後からは、同校の生徒たちとともに、藤嶋昭 東京理科大学栄誉教授の「光触媒」に関する特別講義を受講します。本プログラムにより、海外の高校生のみならず、日本の高校生にとっても海外留学へのモチベーションを刺激するなど、特別な体験となることが期待できます。

つきましてはご多忙中とは存じますが、海外の高校生が中大附属高校の生徒と交流をする様子、藤嶋栄誉教授の特別講義に耳を傾ける様子を取材して頂きたいをお願い申し上げます。なお、参加者や引率者への個別インタビュー取材もご相談により対応可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：北村、太田）